

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都製作所 社員寮 パート	階数	地上5F
建設地	京都府久世郡久御山町大橋辺12-3	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	72 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,400 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年6月22日
敷地面積	1,555 m ²	作成者	㈱デザインワークス
建築面積	686 m ²	確認日	2020年6月25日
延床面積	2,594 m ²	確認者	辻田 博

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護膜を剥離してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
----------------------------	--	----------------------

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 100%
③上記+②以外の 100%
④上記+ 100%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.4

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8 音環境: 2.9, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 2.3, 空気質環境: 3.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6 機能性: 2.6, 耐用性: 2.6, 対応性: 2.5	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.8 生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 1.0
---	--	---

LR 環境負荷低減 LRのスコア= 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9 建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 2.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.2 水資源: 2.2, 非再生材の: 2.2, 汚染物質: 2.3	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.5 地球温暖化: 3.0, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 2.1
--	---	---

3 設計上の配慮事項		
総合 新社会人の、20代前半から後半までの年代が入居する。個別のプライバシーを確保しながら、食事やリラクゼーションの時間にはコミュニケーションをとり、お互いの個性を認めながら人間性を高め合い成長するというコンセプトの基に設計を行った。		その他
Q1 室内環境 個室間、個室と廊下間の界壁はRC壁、乾式の遮音性能を確保する壁とし快適な個室環境を確保した。個室は採光を東面、南面に確保した。温熱環境は各室に個別に空調機を配置し、温度設定が可能とした。24時間換気扇を設	Q2 サービス性能 各個室は6帖以上を確保し、天井高さ2450とした。現代では必須のインターネット環境を各室に配置し情報設備を整えた。設備配管は点検可能とし、空調機や、給湯器は屋外に設置し、将来対応可能とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地を設けて、屋外環境及び周辺環境にも配慮した。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制に配慮した。太陽光発電を採用し自然エネルギーを利用した。	LR2 資源・マテリアル 汚染物質含有材料の仕様は回避した。府内産木材を使用し再生可能な資源を利用した。	LR3 敷地外環境 建物を道路側及び北側にL型に配置計画を行い、周辺の空地进行をできるだけ確保し、敷地境界沿いに緑地を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される